

科目名	まつり実践実習Ⅰ	科目分類	■専門科目群 □総合科目群		
			総合政策学部	□必修 ■選択	
			学部	□必修 □選択	
英文表記	Practice and Training of FestivalⅠ	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年		
		開講期間	■前期 □後期 □通年 ■集中		
ふりがな	かわぐちまこと・さとうひろとし・ゆざわまこと	実務家教員担当科目	○(湯澤)	修得単位	2単位
担当者名	川口 誠・佐藤寛稔・湯澤 真	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	竿燈まつりとその伝統を理解する				
到達目標	1. 伝統文化を守り続けることの重要性を理解できるようになる。 2. 竿燈まつりに出場できる技と心粋を身につけることができる。				
授業概要	国指定重要無形民俗文化財に指定されている「竿燈」の歴史とその意義を学び、差し手、囃子(笛・太鼓)、かけ声を練習し、技をみがいたうえで、8月3日～6日の竿燈まつりに出場します。				
授業計画					
第1回	オリエンテーション(体育館)		第17回	竿燈まつり出場に向けた練習1(短大体育館前)	
第2回	竿燈の伝統と歴史を学ぶ		第18回	竿燈まつり出場に向けた練習2(短大体育館前)	
第3回	竿燈実技1(体育館)		第19回	竿燈まつり出場に向けた練習3(短大体育館前)	
第4回	竿燈実技2(体育館)		第20回	竿燈まつり出場に向けた練習4(短大体育館前)	
第5回	竿燈実技3(体育館)		第21回	竿燈まつり出場に向けた練習5(短大体育館前)	
第6回	竿燈実技4(体育館)		第22回	竿燈まつり出場に向けた練習6(短大体育館前)	
第7回	竿燈実技5(体育館)		第23回	竿燈まつり出場に向けた練習7(短大体育館前)	
第8回	竿燈実技6(体育館)		第24回	竿燈まつりの準備作業	
第9回	竿燈実技7(体育館)		第25回	竿燈まつりへの参加1-1	
第10回	竿燈実技8(体育館)		第26回	竿燈まつりへの参加1-2	
第11回	竿燈実技9(体育館)		第27回	竿燈まつりへの参加1-3	
第12回	竿燈実技10(体育館)		第28回	竿燈まつりへの参加2-1	
第13回	竿燈実技11(体育館)		第29回	竿燈まつりへの参加2-2	
第14回	竿燈実技12(体育館)		第30回	竿燈まつりへの参加2-3	
第15回	竿燈実技13(体育館)		第31回	竿燈まつりの片付け作業	
第16回	実技試験		※第17回～31回は通常とは違う時間に「集中講義」で実施します。 日程等詳細についてはポータルサイトでお知らせします。		
授業時間外の学習	授業以外にも自主練習、本番が近くなれば公式練習があります。また、演技の上達のみならず全体の調和が重要です。積極的に参加してください。				
履修条件 受講のルール	・全くの初心者の人でも基本から指導しますので、積極的にチャレンジすることを期待します。 ・短大体育館で練習を行いますので、体育館シューズを持参してください。 ・科目の性質上、特に7月中は夕方等授業時間外の練習も必要です。上達の状況や整容、参加態度によっては、竿燈まつり本番に参加できないことがあります。				
テキスト	ポータルサイトに適宜資料を配布します。(特定のテキストは使用しません)				
参考文献・資料	秋田市竿燈会「竿燈ができるまで―竹の準備、親竹、横竹、継竹のつくり方、竿の組み立て方」				
成績評価の方法	①竿燈まつりへの参加(40%) ②実技試験(30%) ③取組姿勢(30%) ※取り組み姿勢や活動に対する意欲を総合的に評価します。 ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験				

	を受けることができません。
オフィスアワー	・川口：月曜日 3 限、木曜日 2 限 ・佐藤（寛）：月曜日 1 限、月曜日 2 限 ・湯澤：火曜日 3 限、木曜日 2 限
成績評価の基準	秀(100～90 点)、優(89～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	竿燈まつりには多くの観光客やツアー客が国内・海外から秋田を訪れます。この授業で祭と観光の関係や、観客へのホスピタリティのことについても学んでみましょう。
学生へのメッセージ	国指定無形民俗文化財である「秋田竿燈まつり」に参加するための授業です。観客を感動させるためには、上手に演技するために努力をすることはもちろんのこと、その歴史や伝統をしっかりと理解することが重要です。「魂」を吹き込んだ演技をできるように一緒にがんばりましょう。